新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）事業評価

令和７年度から令和９年度にかけて、国の補助事業を活用しながら、「**1000人が笑う村の関係人口1000人創出事業**」に取り組んでいます。

本事業では、国の補助事業として設定したKPIについて、評価委員の皆様からご意見をいただきながら、その達成状況を検証するとともに、検証結果を今後の事業の改善や取組内容の見直しにつなげていきます。

令和８年１０月７日に行いました評価委員において下記のとおり評価いただきましたので公表します。

１，カリコボーズの宿と関係施設における観光消費額（宿泊収入）

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
KPI	令和6年度比300万円増加	令和6年度比700万円増加	令和6年度比800万円増加	令和6年度比900万円増加	令和6年度比1000万円増加
実測値	1300万円増加				
達成率	433%				

２，デジタル関係人口の数（LINEオープンチャットの加入者数）

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
KPI	500名	800名	1000名		
実測値	523名				
達成率	105%				

３，保育園留学利用者数

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
KPI	5世帯	10世帯	15世帯	20世帯	25世帯
実測値	4世帯				
達成率	80%				

４，「にしめら四季まつり」における観光入込客数

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
KPI	令和6年度比3000名増加	令和6年度比8000名増加	令和6年度比10000名増加	令和6年度比12000名増加	令和6年度比14000名増加
実測値	600名増加				
達成率	20%				

「**1000 人が笑う村の関係人口 1000 人創出事業**」の令和 7 年度評価

令和 7 年度は、宿泊施設や各種イベントの集客を通じて、宿泊観光消費額 1,300 万円増加（達成度 433%）を達成するとともに、LINE オープンチャットの登録者数についても 523 名（達成度 105%）を確保することができました。これにより、村外の関係者に対する継続的な情報発信の基盤が構築され、デジタルを活用した関係人口の創出・拡大に向けた成果を得ることができました。

また、保育園留学についても制度の立ち上げに時間を要したものの 4 組 5 名（達成度 80%）を受け入れることができました。短期的な観光交流にとどまらず、将来的な移住や継続的な地域との関わりにつながる「超長期的な関係人口」の創出に向けた取組として、一定の成果を上げることができました。

一方、観光入込客数については、KPI の目標値を下回る結果となりました。しかし、令和 7 年度は、これまでの観光入込客数の把握方法を見直し、イベント参加者数等について、より実数に近い形で計測するなど、計測方法の厳密化を図りました。その結果、例えば花火大会では、令和 6 年度の入込客数を 8,000 人としていたものが、令和 7 年度は 4,000 人となるなど、単純な数値比較では実績が伸びていないように見える状況となっています。

一方で、宿泊観光消費額が目標値を大きく上回ったことや、宿泊施設、各種イベント、LINE オープンチャット、保育園留学など、村と継続的につながる多様な接点を創出できたことを踏まえると、本事業を通じて村外の方々と村との新たな関係を着実に築くことができました。

以上のことから、観光入込客数については、今後も計測方法の精度向上を図りながら継続的に検証していく必要がありますが、「**1000 人が笑う村の関係人口 1000 人創出事業**」という本事業の目的に照らしてみると、令和 7 年度は、観光による交流人口の拡大に加え、デジタルや保育園留学などを通じた継続的・長期的な関わりを生み出すことができ、関係人口の創出に向けて大きな成果を残した年度であったと評価しています。